

Monthly

a・con

ほんすりー・えーこん

特集1: 新年度までに
読みつくす!
NPO的 読書論

特集2: ボランティア
フォーラム続報



2010年3月号

三月に入っても南京はまだまだ寒く、時折雪がちらついている。最近こちらに住む日本人の方と、僕の家近くにある激安くし屋さんに行ってきた。地元感満載のなかなかすばらしいお店である。今回はそんなくし屋で起こった、自分は日本人だなと考えさせられたえエピソードを紹介したい。

いつも通りすべてのくしをたいらげ、さあ帰ろうと席を立った時。何やら店員さんが僕たちの机を見てびっくりしている。うむ。きっと我々の食べ方がきれいだったんだな。そう思っていたらどっこい。まーそれも一つの理由ではあったんだが、それよりも店員さんがびっくりしていたのは、くしの方向であった。

よく見たらくしの方向(持つ方と、尖った方)がすべて同じだったのだ。我々の食事中に暗黙の了解として存在していた、無意識のルールである。

なぜくしを同じ方向にしていたのだろうか？ 三つの答えを推測する。

丁寧な食べ方を心がけた
店員さんが持っていきやすいように心がけた
方向が一緒じゃないと気持ち悪い
(俗にいうA型気質)

こんなところだろう。



おそらく、これらは誰しもが経験したことのある行為だと思う。特に に関して言えば、居酒屋なんかでよくあるような食べ終わった後、店員さんが持っていきやすいように皿をまとめる行為の感覚に近いのと思う。“人に気を使う”という意識していない無意識の行為に潜む日本人らしさ。振る舞いの発見であった。

この普段からしている行為は外(外国)では違和感になり、自分のアンテナを刺激してくれる。それはつまり日本、そして日本人のコトを考えるきっかけを与えてくれるということである。

外から客観的に日本、日本人を見つめ直すということは、なかなか面白い。以前より確実に日本、日本人への興味、関心が高まったと感じている。

sugiX プロフィール

1982年生まれ。静岡県浜松市出身。日産自動車デザインセンターを経て、2009年5月よりSmile Parkの活動を開始する。『人との出会いこそが最大の勉強』と考える体育会系。
(小～高バスケットボール部、インターハイ出場。大学ボクシング部、京都府Fe級新人王)

Topics

column X	P1
Topics	P2
a-conとは・・・	P2

特集

新年度までに読みつくす！NPO的読書論	P3
---------------------	----

特集

ボランティアフォーラム続編	P11
a-con NEWS HEADLINE	P13
海外NPOレポート	P14
編集後記	P14
事務局だより	P15
a-con WEBサイト	P15

a-conとは・・・

正式名称は“特定非営利活動法人NPOコミュニケーション支援機構”。
“action unit for communicative NPO”、略してa-con(えーこん)。

「NPOの活動を、どう世の中に伝えていったらいいか」
ということ、そのNPOの方たちと一緒に、
同じくらい真剣に考えて、
「コミュニケーション」という切り口でお手伝いするユニットです。



特集 1

新年度までに読みつくす！

NPO的

読書論

暖かい風を頬に受けながら、ちょっとウキウキした気分になる。春は新しいことにチャレンジしてみたい、そんな人も多いのでは。今月のmonthly a-conは、新しい一歩を踏み出すあなたを応援する、a-conメンバーによる「お奨め本」特集である。

愛と勇気と智慧が詰まったそ沢山の本たちが、あなたの人生に刺激とやる気を与えてくれる。

晴れた休日は本屋でお目当ての本を入手して、ぜひ青空の下で素晴らしい本たちとの出会いを楽しんでほしい。

口コミ伝染病 —お客がお客を連れてくる実践プログラム

フォレスト出版 神田 昌典著



『口コミが起こるワケ、を理解する』

ちょっとした改善や、伝え方で、「しゃべりたくなる」商品・イベント・お店は生まれるんじゃないか、と思いました。熱心な顧客こそ、最高の宣伝媒体なのかも。

きれいなチラシやポスターをお金をかけてつくるより、もしかしたら・・。



      お薦め人：林田

エコシフト -チャミングに世界を変える方法-

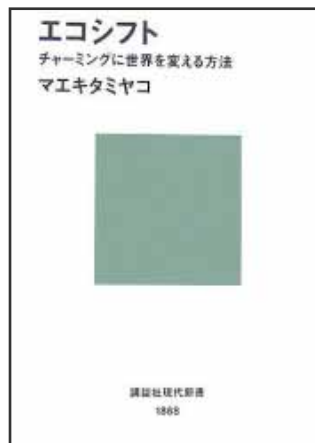
談社現代新書 マエキタミヤコ著



『世界はこんなに楽しくエコシフトしている!』

著者は、日本版ホワイトバンドや、キャンドルナイトの仕掛け人。さすがコピーライターが書いた本、とても読みやすい文体です。a-conの活動も、こんな風にチャミングに広がるといいですね。

NPOに興味持ち始めの人にオススメする入門書的な一冊です。



      お薦め人：黒川

「分かりやすい表現」の技術 - 意図を正しく伝えるための16のルール

講談社 藤沢 晃治著



『分かりやすい「分かりやすい表現」の本』

これ、いいですよ。以前参加した、NPO向けの広報講座で紹介されていた本です。2006年4月の週刊ダイヤモンドにも取り上げられて好評を得てました。わかる気がします。なにしろ巻末に、100以上のチェックリストがあるんですよ！これはべっくりびっくりです。使えます。看板、地図、文章、広告などなど、分かりにくい実例を挙げながら、分かりやすく「分かりやすさ」を学べる一冊です。



お薦め人: 林田

人が集まる！行列ができる！講座、イベントの作り方

講談社プラスアルファ新書 牟田 静香著



『“お金のない”NPO広報担当必読の書！』

お金をかけてデザイナーに頼まなくても、効果的な広報はここまでできる！

広報に困っている、とくにNPOの方々にはむちゃくちゃおすすめしたい一冊です。

「あんまり参考にならなかった…」とお感じになられたら、林田が買い取ります。



お薦め人: 林田

ボランティアマネジメント 自発的行為の組織化戦略

ミネルヴァ書房 桜井 政成著



『口コミが起こるワケ、を理解する』

「ボランティアマネジメント」について一通り載ってま
す。学術書チックな記述なので、全部を読むのはよ
っと大変ですが、豊富な実例と研究成果を基に、とて
もロジカルに解説してくれます。ボランティアな組織で
活動しているすべての人に参考になること間違いなし
です。(NPOマネジメントシリーズ)



お薦め人：谷本

「日本で最も人材を育成する会社」のテキスト

光文社新書 酒井 穰著



『ヒトこそが企業経営に残された最後の開発ターゲット』

新たな時代におけるあるべき「人材育成」を、丁寧に分
かりやすく提案している本です。

著者も、「営利を目的としていない官公庁やNPO(非営
利団体)にとっても人材育成は重要な課題です。」と作中
で述べているとおり、人材が宝であるNPOのパワーアップ
の指南書にもぴったりの本だと思います。

「がんばる」モチベーションを最大限引き上げるための
ヒントが詰まった、新しい人材育成の本。



お薦め人：原

非営利組織のマーケティング戦略

フィリップ・コトラー, アラン・R. アンドリーセン, 井関利明, 新日本監査法人公会計本部 (第一法規)



『NPOのマーケティングをしっかりと学びたい人へ』

ドラッカーがマネジメントの神様ならば、コトラーはマーケティングの神様。らしいです。マーケティングとは何か、なぜNPOにマーケティングが必要か、といった根本的なところから、新規参加者の心理段階やはたまたまキャッチコピーの分析まで。豊富な事例と文献が説得力を増しています。気合入れて読めば、得られるものも大きいです。とはいえ… ムツカシイ用語や考え方が多々あるので、予備知識を持たずに読む場合は読みやすいところから、どうぞ



お薦め人: 中井・林田

NGO運営の基礎知識 市民活動のための実践ガイドブック

アルク A SEED JAPAN (編集), POWER (編集)



『幻のNPO運営手引書』

もはや絶版となってしまった幻の本。NGO業界叩き上げの人たちがその手練手管を分かりやすく解説している。

人材育成トレーニングや、人集めから資金調達まで、団体運営のノウハウを即実践で使えるレベルで。

(Amazonで中古販売しています)



お薦め人: 林田

メディア・アクセスとNPO

リベルタ出版 津田 正夫著



『NPOが伝えている情報と世間ニーズとのギャップ』

NPO向けの広報講座で紹介されていたのをきっかけに読みました。

NPOに参加したい人が望む団体情報と、NPOが伝えている情報にギャップがあることを統計データを元に分析しとります。インターネット革命が起こって間もない時期のデータであるのが悔やまれますが、それなりに参考になります。



 お薦め人：林田

市民活動団体の会計 理論と実践

NGO活動推進センター - 中村 博著



『分かりやすくてためになる、会計入門書』

たいていの会計本は四角四面に「こうあるべき」ってことばかり書かれていて「実際そんなに手間かけられません……」ってなっちゃいますが、この本はそんなことありません。単式簿記＋ちょっとした決算処理でここまで出来るんだ！と感心してしまいました。

NPO法人向けの会計手引きは数あれど、任意団体も含めた「市民活動団体」全般向けのものは、おそらくこの本だけなのではないでしょうか。



 お薦め人：谷本

世界を変えるデザイン - ものづくりには夢がある

英治出版 シンシア・スミス(著)、槌屋詩野(監修)



『自分のスキルで世の中の役に立ちたい！というデザイナーへ』

デザイナーたちは従来、先進国に住む10%の最富裕層消費者向けにしかデザインしていない、という事実があるそうです。で、デザインの恩恵を本当に必要としている残りの90%向けにデザインされた40以上の製品やサービスをフルカラーで紹介しているのが、この書籍。ブックファースト渋谷店では、ビジネス書ランキング5位に入っているほど結構売れているようです。貧困層に向けて、デザインは何ができるのか？どんなプロセスを経て、これらの製品はできたのか？これまで、デザイナーは世界のために

何をしてきたのか？といったことも、まんべんなく触れられています。さらに、うまくいっていない事例やその理由も、包み隠さず述べられていて、読み応えがあります。

(中略)特に巻末の、「監訳者あとがき」は 大量生産大量消費の片棒を担がされているデザイナーの心を熱くさせる、非常に感動的な文章が詰まっていますよ！



お薦め人: 林田

閑話休題: どうすれば面白い本と出会えるのか？

何を読むべきか？は、どう生きるのか？ということと同義であり、これは活版印刷の技術が普及して以来、人類の永遠のテーマと言っても過言ではありません。しかし私はあえて、読書は質ではなく量だと言い切りたい。その極意は「面白くない本など存在しない」、これです！オモシロイ本など探してみたところで、いつまでたっても出会えません。何を読むか考えている暇があるなら、いま目の前の本を読みましょう。"本屋の入口に置いてあった"理由ならそれで充分です。手当たりしだい読むのです。もはや文字でありさえすればいい。そういう気概を読書人には持ってもらいたいですね。それを続けていくと、本に対する勘が自然と鋭くなっていくので、適当に選んでいるのに自分にとっての「当たり本」ばかりになるという現象が起こり、結果として面白い本がたくさん読めます。というわけで、まずは今回の特集で紹介された本を手当たりしだい読むことをオススメします。

(黒川照太)



特集2 ボランティアフォーラム続報

2月に行われたボランティアフォーラム。
今月号は、実際に分科会に参加したa-conメンバーのレポート報告です。

Networking

コミュニティビジネス入門 ～想いをカタチに変える方法～

この分科会では、コミュニティビジネスの支援者である中間支援組織、信用金庫、NPOの3名により、それぞれの切り口から説明をしてもらいました。

ひとりめ：NPO法人Mystyle@こだいら代表 竹内千寿恵さん

コミュニティビジネスとは何かという説明から始まり、いくつかの事例を紹介していただきました。

ふたりめ：多摩信用金庫・価値創造事業部副部長・長嶋剛さん

地域の課題解決が地域経済活性化につながる、という考えにより、地域に根差す金融機関である信用金庫がビジネスの一環としてコミュニティビジネスを支援しているとのこと。その考え方や、支援の一環として作っているコミュニティビジネス関係者のネットワークについてご説明していただきました。

さんにんめ：NPO法人TRYWARP代表理事・虎岩雅明さん

会社を興す過程から現在の活動に至るまでのストーリーをお話しいただきました。コミュニティビジネスを目指した結果、ではなく、事業を興すことを目指したときに見えてきたのが地域の課題だったとのこと。現在は、事業の仕組みを他地域でも使えるよう展開することを目指しているそうです。



日時：2月6日(土) 13:00～16:00
会場：飯田橋セントラルプラザ会館
出演：NPO法人アーバンエコロジー東京
レポート：清水

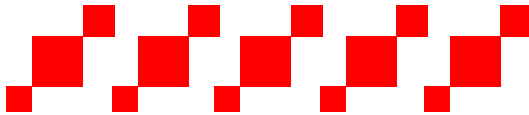
「自転車をつくるサステイナブルな都市生活」～自転車の市民権を考える～
という分科会に参加してきました。

分科会のテーマは「ヨーロッパの自転車政策を参考にしながら、日本における自転車を取り巻く課題を、都市政策と利用者マナーの両面から検証し、持続可能な都市交通としての自転車の考え方を考える、でした。

講師はなんと、海の遙か向こうのイギリスからスカイプで生チャット(映像付き)。イギリスでは現在、自転車利用がホットで、自転車専用道の整備や公共レンタサイクルの導入、自転車通勤減税など行政を中心とした施策が盛んに行われているそうです。元々は前市長が自転車レーンを2010年までに900kmも敷設すると決めたリーダーシップが契機となっています。

自転車活用NGOもその動きに協同し、自転車通勤のためのレッスン(いわゆる啓発)から、自転車施策の研究・提案といったアドボカシーまで多様な活動を展開し、自転車利用の増大に大きく貢献しています。

イギリスの自転車政策の例に限らず、日本においても行政を補完する役割としてのNPOの重要性は今後益々求められて行くのではないのでしょうか。



日時:2月6日(土) 10:00～12:00
会場:飯田橋セントラルプラザ会館
出演:NPO法人アーバンエコロジー東京
レポート:石本



Earth Day Tokyo 2010

<http://www.earthday-tokyo.org/>

日時: 2010年4月17日・18日

会場: 代々木公園・渋谷・原宿・表参道ほか

4/17・18の週末には代々木公園を中心にEarthDayTokyo2010が開催されます。今年は「愛と平和の地球の祭典」をコンセプトに、地球を愛する市民の力を結集し、これまで培ってきた知見やメッセージを力強く発信・共有することで、多様ないのちがつながり合い、ともに生きる持続可能な社会を目指します。

会場では多くのNPOも活躍しています。また、NPOビレッジが設けられ、多くのNPOが自分たちの活動について発信します。多くのNPOに出会えるチャンス！ぜひ会場へ行ってみてはいかがでしょう？

オーガニックフェスタin東京 2010

<http://www.organicfesta.com/>

日時: 2010年4月24日・25日

会場: 赤坂サカス

オーガニックフェスタは、「食べる」だけではない、生活全般を見つめた新しいオーガニックのコンセプトとライフスタイルを提案するイベントです。ヨーロッパなどのマルシェ(市場)を再現し、日本や世界のオーガニック食品やオーガニックコスメ、コットンなどの製品を見て、買って、食べて、楽しめます。

オーガニックなライフスタイルのヒントがいっぱいのオーガニックフェスタへあなたもぜひどうぞ。

NICE コミュニケーション事例！

3月のa-conオリエンテーションの後、懇親会で向かった沖縄料理屋さん。その入り口にさがっていたのは、最近ウサの「緑提灯」でした。

- HPより: 日本の農林水産物をこよなく愛でる粋なお客様のため、カロリーベースで日本産食材の使用量が50%を超えるお店で緑提灯を飾っています。

この「緑提灯」、FOOD ACTION NIPPONアワード2009にて、コミュニケーション・啓発部門で最優秀賞を受賞したそう。皆さんも街で探してみてくださいね。 <http://midori-chouchin.jp/>





The Mid-Atlantic Great Dane Rescue League

今日はかなり明確(限定的)な使命を帯びる団体を紹介します。

Mid-Atlantic Great Dane Rescue League(アメリカ中部大西洋地方)グレート・デーン救済同盟(?)、「MAGDRL」は飼い主のいないグレート・デン(狩猟犬、闘犬や護身犬として発達した超大型犬)に新しい家を探す団体。1979年に設立され、主に寄付金による活動資金で、平均で70~90匹の犬を保護している。

MAGDRLも多くのNPOにもれず、Twitterを活用。保護している犬たちの写真や犬に関連した地域ごとのイベントや豆知識等を公開している(@magdrl)。

この団体は、里親期間を設けて、保護した犬一匹ごとの性格等の特徴を把握し、もらい手候補者の電話面談、書類審査、自宅訪問等を行い、裁量の飼い主とのマッチングに努めているようだ。

< AINA >



先月号にて紹介した湯人の160キロのサイクリングまで、あと1週間弱(The Leukemia & Lymphoma Society)。今のところ寄付は3,986ドル集まったようです！ちなみにこの団体もTwitterでtweetしています(@llsusa)。

編集後記

年度末は毎年忙しいですが、今年の忙しさはまた格別ですね。monthly編集部の方々も2~3月は怒涛のお仕事ラッシュです。そんな中、本号でmonthly a-conもリニューアル4号目を迎えました。

まだまだ未熟なところも多いと思いますが、少しずつですが私たちがパワーアップしていきたいと思っています。

そういえば、後半月もすると新年度ですね。何か新しいことにチャレンジしてみたくなる季節。新年の目標を立て損ねたので、新年度の目標でも立ててみようかなと思う今日この頃。とはいえずは健康第一です！2009年度に忘れ物をしないよう、ラストスパート気合入れていきましょう。

< はらぼ >

参加者大募集！ ～今後のスケジュール

定例会：毎月第3土曜日に開催。活動状況報告、意見交換など…懇親会もやりますよ！

〔日時〕4月17日(土) 14:30～16:30

〔場所〕大崎第一集会所

a-conゼミナール：テーマを決めて勉強会。a-conメンバー以外の方も参加いただけます。

「議事録の書き方」をテーマに、5月開催に向けて準備中。

詳細はWEBでお知らせします。

オリエンテーション：a-conについての説明会です。ご興味をお持ちの方はご参加ください。

5月開催に向けて調整中。ご要望があればミニオリエンも開催します！！

a-conメンバー大募集！

NPO・ボランティア・コミュニケーションに興味がある、社会貢献してみたい、余暇を何かに使いたい…。そんなあなたはぜひ、a-conを覗いてみてください。a-conには色んな関わり方があります。

お問い合わせは、下記a-con事務局までお気軽にどうぞ！

mail:jimukyoku@a-conweb.net（担当：山田、佐藤）

a-con WEBサイト

a-conの活動や、その他いろいろな情報を発信しています。

WEBサイトへもぜひ遊びにきてください。

URL：<http://blog.a-conweb.net/>

発行元：特定非営利活動法人 NPOコミュニケーション支援機構(a-con)

編集長(代理)：原文子 DESIGN：佐藤美弥子

Writer：石本貴之 緒方太郎 清水龍生 sugiX 福田愛奈（五十音順）

編集：秋本康治 緒方太郎 岸上友香 佐藤美弥子 森山紗也子 涌井健策（五十音順）